

女性活躍支援に取り組む 地域ネットワーク 事例集

女性活躍12ネットワーク

しまね建設女子魅力向上委員会（島根県）

岐阜建設人材育成対策会議（岐阜県）

サステナブルウーマンネットワーク（宮城県）

中部圏けんせつ小町（愛知県）

静岡県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム（静岡県）

北海道建設産業女性活躍推進協議会（北海道）

低層住宅における女性技術者情報交換会からの環境改善（東京都）

北海道ブリリアント会（北海道）

建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワーク（東京都）

やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク（山口県）

建設業女性未来づくりの会（CHIC）（京都府・大分県）

建設業の女性活用に向けた新潟地域ネットワーク（新潟県）



地域から始まる「女性も活躍できる」仕組みづくり！



建設業における女性活躍については、平成 26 年 8 月に官民共同で策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を契機に、官民一体の様々な取組を通じて、その機運が着実に高まっているところです。

この事例集は、地域における建設企業、業界団体、教育機関、行政機関などの関係者が連携して形成する「地域ネットワーク」において実施された、女性の活躍をサポートする活動についてテーマ別に紹介し、情報発信を行うものです。

建設業の女性活躍を応援する取組のヒントとしていただければ幸いです。

1 みんなが憧れる建設業を目指そう

- 女性入職促進と建設業イメージ向上へ県下の全中学校にカレンダー等配布 1
- 母親へアピールするため、全戸配布の情報誌を活用して建設業の魅力を訴求 2
- 男性中心の風潮を見直し、女性が働きやすい環境づくりを目指す 3

2 ずっと活躍できる建設業にしよう

- 負担の少ない重機の運転資格に着目、建設業界に若い女性の目を向ける 4
- 産学官が連携し、見学会や出前講座で女性の就業促進・定着を支援 5
- 雪のハンデを負う建設業の実態を把握し、効果的な女性支援策を計画 6

3 仲間と一緒に建設業を変えよう

- 業界で働く女性の愛称「じゅうたく小町」を定め、女性活躍への提言を周知 7
- 先進事例を学ぶ交流会で、女性同士の横の繋がりを構築 8
- 建築設備業界で働く女性を中心とした女性交流ネットワークを設立 9

4 もっと建設業を知ってもらおう

- ロールモデルと女性活躍事例の紹介・PRにより、女性入職を促進 10
- 原価管理から広報まで、実務講習を通し女性事務職員のスキルアップを支援 11
- 新聞特集や作業服の人気投票、見学会で女性や小中学生に建設業の魅力を PR 12





1 みんなが憧れる建設業を目指そう

女性入職促進と建設業イメージ向上へ 県下の全中学校にカレンダー等配布

～女性交流会で横のつながりを強化、職場環境改善等を提言～
しまね建設女子魅力向上委員会（島根県）

POINT

- ・女性が交流できる会を開催して女性会員同士の相互交流と活動のためのアイデア創出を図る。
- ・業界のイメージアップと建設業に女性の入職を促すためのカレンダーや冊子を制作し、関係官庁や島根県の全中学校・公民館等に配布した。
- ・就職フェア、U I ターンフェア等への参加を通して入職を促進した。



女性交流会で女性同士の相互交流を図りながら、職場環境の改善、魅力発信のためのアイデアを話し合う

取組の背景と動機

女性の入職促進にイメージアップと職場環境改善が必要

島根県の建設業は、女性が働く割合が低い（女性従業員 12%、女性技術者 3%）。また、働く意欲のある女性が多いが、「3K」、「男性の職業」というイメージがあり、建設業への入職に結びつかないなどの問題がある。このほか、労働環境が整っていない、相談相手がいない、産休・育休を経て働く女性のモデルがない、などの実務上の課題もある。このため、「しまね建設女子魅力向上委員会」は、女子会の活動を通し、女性同士で相談し合える相互交流を促進。建設業のイメージアップをはじめとする課題の解決に向けた活動を行った。

取組の概要

女子会を催し、交流促進やイメージアップのアイデアを創出

「3K」、「男性の職業」といったイメージを払拭するために、イメージアップカレンダーや建設現場で活躍する女性を紹介する冊子を制作し、配布。また、女性入職促進のために、就職フェア、U I ターンフェア等へ参加。高専など専門的知識を学んでいる学生を対象に、出前講座も実施した。さらに「建設産業イメージアップ女子会」では、女性同士の相互交流を図り、職場環境の改善や業界のイメージアップのためのアイデアを話し合った。開催告知は建設興業タイムス紙上などに掲載し、会社、業界の垣根を越えた、より広い交流を実現した。

取組の成果、今後の課題

女子会活動の継続のため、業界の環境整備などが課題

イメージアップカレンダーや建設現場の女性の姿を伝える冊子は、島根県の全中学校等に配布。また、女性入職と関わる就職関連のフェアは、島根はもとより、広島、大阪、東京にも参加した。さらに働く女性の交流促進の一助としてアロマテラピー講座や料理教室も開催した。

女子会メンバーは各自、仕事と家庭を両立し多忙な日々を過ごしており、業務優先のため、会の活動は夜間や休日に行う等、制約が多々ある。そのため女子会は今後、メンバーが活動しやすいよう、職場の理解促進を含めた業界の環境整備を行う必要がある。また、一部のメンバーに負担が偏ることのないよう役割分担をすることで、無理なく活動するなど、会の長期的な継続を目指している。



イメージアップカレンダー。関係官庁、島根県の全中学校・公民館に配布した。



女性技術者が建設業で働くことの魅力を紹介した「しまね建設女子図鑑」

地域ネットワークの概要

しまね建設女子魅力向上委員会

事業管理団体：しまね建設産業イメージアップ女子会

島根県松江市嫁島町 10-7
WEED ビル 3F

構成員名：しまね建設産業イメージアップ女子会

島根県

(一社)島根県建設業協会

島根県建設産業団体連合会

(独)国立高等専門学校機構

松江工業高等専門学校

(有)建設興業タイムス社



1 みんなが憧れる建設業を目指そう

母親へアピールするため、全戸配布の情報誌を活用して建設業の魅力を訴求

～女子生徒の進路選択に影響力をもつ、保護者の理解を促す～
岐阜建設人材育成対策会議（岐阜県）

POINT

- ・工業高校へ進む女子生徒を増やすため、女性やその母親層が愛読する全戸配布のフリーペーパーを活用して、建設業の魅力や役割の理解を促進。
- ・建設業で実際に活躍する女性の姿を通して、母親がもつ業界イメージの改善を促す。
- ・進学希望者を増やすためには、企業と学校、特に女性技術者と女性教員のより一層の交流が必要と再認識した。



フリーペーパーで、女性技術者、県の女性監督官等の活躍を紹介

取組の背景と動機

建設業に進む女子生徒の減少、就職後の低い定着率

岐阜県では、従来から建設業が地域の雇用を支えてきたという認識もあり、工業高校で土木や建築を学び建設業に就職する女性が比較的多くみられた。しかし現在は、工業高校の建設系学科に進学する女子生徒が大幅に減少、また建設系学科を卒業したうちの約4割が建設企業に就職するものの、半数が3年以内に離職する状況が生じている。

さらに、少子化の影響から県内の建設系学科が縮小され、このままでは建設業を学ぶ機会が失われるおそれも高まってきている。入職者のさらなる減少を危惧した「岐阜建設人材育成対策会議」は、工業高校への女子進学希望者を増やすための取組を開始した。

取組の概要

女性が愛読する冊子を活用して建設業の魅力を発信

中学生とその保護者、とりわけ進路の決定に大きく関わる母親に建設業の魅力や役割を効果的に伝える最良の方法を模索した対策会議は、地域全戸に配布されるフリーペーパーに着目。母親の理解を促して工業高校への進学を希望する女子生徒の気持ちを後押ししてもらうための効果的な編集内容を企画し、生活に役立つ情報が満載で多くの女性が愛読する同フリーペーパーに記事を掲載することとした。

誌面には、女子高生による建設現場の見学体験談のほか、現場で実際に働く女性技術者や県の女性監督官、女性教員がそれぞれの立場から建設業の魅力ややりがいを述べる記事を掲載。母親たちが安心して進学を後押しできるよう、建設業で活躍する多くの地元女性の姿をアピールした。

取組の成果、今後の課題

企業と学校の連携により、さらに女子生徒の進学を促す

全戸に配布した反響は大きかったが、それがマイナスイメージをどの程度払拭できたか、進学にどこまで結び付いたか等の成果の確認は今後の課題である。

また、今後は女性がしっかりと建設業で活躍できるステップをつくりあげるため、学校と企業が連携し、特に女性技術者と女性教員が交流を図って、情報交換することが重要と認識。そうした将来構想の下で、様々な立場の女性が集う懇談会、保護者との討論会、母親向けの見学会開催等を計画。さらに入職用パンフレットの制作など、より幅広い視点による取組を進めることで、女子学生等の建設業への進出を促す活動について、さらに内容の充実を図っていく。



現場見学会に参加した工業高校の女子生徒



測量器具を操作する女子生徒

地域ネットワークの概要

岐阜建設人材育成対策会議

事業管理団体：(一社)岐阜県建設業協会
岐阜県岐阜市荻田東1丁目2-2
構成員名：(一社)岐阜県建設業協会
岐阜県高等学校教育研究会
工業部会建設系分科会
岐阜県県土整備部技術検査課



1 みんなが憧れる建設業を目指そう

男性中心の風潮を見直し、女性が働きやすい環境づくりを目指す

～ラジオ等を活用し、孤軍奮闘する女性のネットワーク化を図る～
サスティナブルウーマンネットワーク（宮城県）

POINT

- ・男性優位の風潮が根強い地方の建築業界で、女性が働きやすい環境を整備するための第一歩として、同じ境遇の仲間が集まるネットワークを形成した。
- ・さらに共感し合える仲間を増やすため、ラジオやイベントを通じて広く呼びかけた。
- ・活動の広がりに伴い、女性求職者と経営者とのマッチングも実現。



外国人建築士を招いて開催されたフォーラムでは、諸外国の建築事情や女性活躍状況を学んだ

取組の背景と動機

女性も活躍できる環境づくりが必要な地方の建築業界

近年、女子学生の間で建築系学科が人気を集めており、ハウスメーカーやゼネコン、設計事務所等に就職し活躍する女性が増えている。しかし、女性ということで、就職しても補助的な仕事しかできず、長続きしないケースも多い。ましてや男性優位の風潮が根強い地方で独立開業するのは極めて難しく、有資格者であっても女性であるという理由で優遇されない状況があり、仕事を諦める女性もみられる。

そうした状況を乗り越えるため、地方では女性の能力が発揮されにくいと感じた女性建築士を中心に女性のネットワークをつくり、協力し合える体制を構築することが必要と考えた。



地元FM局では、建築の魅力を発信するとともに、建設業で活躍している女性についてもPRしている

取組の概要

ラジオやイベントを通して呼びかけ、仲間を集める

同ネットワークは、共感し合える仲間を集めるために各種イベントや地元FM放送の活用を企画。職場での体験等を気軽に語り合える座談会、家事と仕事の両立等に関するアドバイスや子供たちが建築を楽しめるコーナーを備えた育児中の女性向けワークショップ、タイルアートの体験等を通じて建築を学べる女子高校生とその保護者向けのセミナー、海外の女性活躍事情を伝えるフォーラム等に取り組んだ。

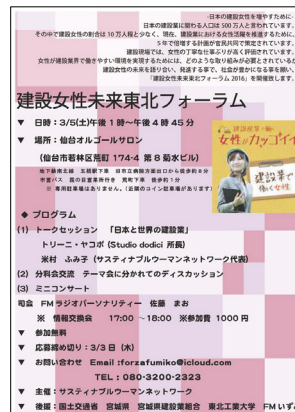
さらに、地元FM局で、建築の魅力や建設業界における女性の活躍ぶりを紹介。新国立競技場の建設など旬の話題を織り交ぜて建築への興味を促すとともに、建設業で女性が活躍するための改革の必要性を訴え、広く理解を促した。

取組の成果、今後の課題

交流の輪が広がり、仕事の紹介等の波及効果も生じる

ゼロからスタートした仲間づくりは、「建設女性未来東北フォーラム」等のイベントへと展開。地元FM放送の効果もあり、様々な立場で共感する女性が徐々に増加していった。こうした交流の輪の広がりに伴い、求職中の女性や職場復帰を希望する育児中の女性と会社経営者の出会いが生まれ、仕事に結び付くという波及効果も生じている。

今後は、女子大生にも参加を呼びかけ、建築の魅力や建築士の役割などを伝えながら業界への入職を働きかけると同時に、土木業界の女性との連携強化にも注力していく。そして将来、建設業界の女性が結集して東北復興に役立つ建築物を完成させる、という目標を掲げている。



平成28年3月には「建設女性未来東北フォーラム」も実施

地域ネットワークの概要

サスティナブルウーマンネットワーク

事業管理団体：グローバルアーキテツツエイド
宮城県黒川郡富谷町
東向陽台 2-11-5

構成員名：復興住宅推進団体グローバル
アーキテツツエイド
東北工業大学
せんだい泉エフエム放送(株)



2 ずっと活躍できる建設業にしよう

負担の少ない重機の運転資格に着目、建設業界に若い女性の目を向ける

～資格の取得や女性が活躍する現場の見学などで女性活躍促進～
中部圏けんせつ小町（愛知県）

POINT

- ・女性や若者でもチャレンジできる建設系の資格として、体力的な負担の少ない重機の運転資格に着目、実際に女子高校生などが取得した。
- ・女性の活躍や、女性のための現場環境整備などを伝える現場見学会を実施した。
- ・フォーラムを開催し、現場で働く女性たちの、横のつながりの強化を図る。



「女性活躍推進フォーラム」で行われた女性若手技術者によるパネルディスカッション

取組の背景と動機

資格や現場の改善を軸に女性への入職・定着を図る

愛知県を中心とする東海地方では、製造業の有力企業が多いこともあり、地元の建設企業が人材確保に苦慮する状況は、他地域に比べより一層深刻である。また、学業を終えた若い女性が、首都圏や大阪圏に職を求め流出するケースも少なくない。こうした状況を打開し、女性への入職と定着を図るべく、(一社)日本建設業連合会中部支部をはじめ地域ネットワーク「中部圏けんせつ小町」が動き始めた。女性や若年者もチャレンジできる建設系資格の取得、女性目線での建設現場の改善、および建設業界で働く女性の横のつながりの促進に取り組んだ。

取組の概要

重機運転資格の取得や現場見学で業界との接点をつくる

建設系資格の取得では、女性を取りやすい資格として重機の運転資格を選定し、高校生や若い女性たちに取得への挑戦を呼びかけた。

建設現場の改善については、女性技術者が活躍する名古屋市内の建築工事現場に、同市内の高校から女子8名を含む1年生の生徒39名を招待。作業内容や女性専用トイレ・休憩所の設置状況などを見学してもらい、建設現場で女性が働きやすい工夫が進んでいる事実を知ることによって興味と理解を促した。

また、名古屋市内で「女性活躍推進フォーラム」を開催。女性のキャリア支援に取り組む専門家の講演や、若手女性建設技術者等によるパネルディスカッション、建設業界に関わる女性同士の交流会などを通じ、横のつながりの促進を図った。

取組の成果、今後の課題

現場見学を通し、女性や若者の関心を高める

具体的な資格取得への取組では、名古屋市内の高校および工業専門学校に通う女子生徒17名が重機オペレーター教習所で実技講習を受講。その結果、全員が小型車両系建設機械などの運転資格を取得できた。また、現場見学を体験した女子生徒たちは、現場の改善状況のほかクレーン作業などにも興味を示し、「現場で働きたい」、「建設業への興味が増した」などと感想を語っている。さらに、「女性活躍推進フォーラム」では、地元女性アイドルグループのメンバーが、パネルディスカッションに参加した。こうしたユニークな試みは、女性や若者たちの建設業界への関心を高めるきっかけとして、その効果が期待される。



講演会やパネルディスカッションを実施した「女性活躍推進フォーラム」。地元の女性アイドルも参加して話題を集めた



実技講習では参加した女子生徒17名全員が運転資格を取得することができた。

地域ネットワークの概要

中部圏けんせつ小町

事業管理団体：(一社)日本建設業連合会

中部支部

愛知県名古屋市中区栄

3-28-21 愛知建設業会館 5F

構成員名：(一社)日本建設業連合会中部支部

中部圏担い手育成ネット

ワーク協議会



産学官が連携し、見学会や出前講座で女性の就業促進・定着を支援

～女性の活躍を実際に見る見学会や出前講座などを実施～

静岡県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム（静岡県）

POINT

- ・建設現場で働く女性の姿を実際に見て知ること、建設業で働く女性の役割や充実感などについて理解を促す。
- ・工業高校OGの女性技術者が、後輩に仕事のやりがいや魅力を伝える。
- ・女性の活躍推進に取り組む先進企業が、業種の垣根を越え意見交換する場に参加した。



高校生を対象に行われた現場見学会

取組の背景と動機

男女共同参画の視点から女性の就業促進・定着支援を図る

女性の建設業への就業が進まない要因の一つとして、求職者側、建設企業側のいずれにも、女性が建設現場で働く姿をイメージできる機会が少ないことが挙げられる。また、建設企業が女性就業者を確保できても、その能力を十分活用するためのノウハウや、職場環境の整備が行き届いていないなどの状況もある。これらの問題について本ネットワークでは、男女共同参画推進の視点から検討を行った。そして、静岡県交通基盤部建設支援局建設業課を事務局に、産学官が連携する「静岡県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム」を設置。女性の建設業への就業促進および定着支援の具体策を実行していった。



女性技術者の指導で重機の試乗を行う女子高生

取組の概要

女性が活躍している現場見学会などを実施

建設業での女性の就業に理解を促す取組として、女性が活躍している県発注工事の現場見学会について、高校生を対象に実施した。また、女性技術者が母校である工業高校の生徒たちに仕事のやりがいや魅力を伝える「けんせつ小町出前講座」を行っている。

県内で女性活躍促進に取り組む企業の男性経営者15名による「しずおか女性活躍先進企業サミット」に、建設企業からも2名が参加。定着促進を目的に業種を越えた意見交換を行い、様々な角度から女性活躍の課題やノウハウを共有した。また、行政が定着支援を行う上での現状や課題を把握するため、県内2,897社の建設企業の経営者、および女性就業者に対し、「産業女性就業者定着支援調査」を行った。



女性でも大型重機を取り扱う技術者が増えている

取組の成果、今後の課題

今後は学生・生徒に対する取組の強化も望まれる

静岡県では、県発注の土木・建築工事において、受注者に女性を配置技術者とする取組を、平成27年度から試行的に実施している。現状では、この取組が具体化したケースは少ない。ただ、現場見学会の実施を通して、発注者・受注者の両方において、建設業での女性の就業への理解が進んだ。これが、建設現場で女性の活躍の場が広がる今後の動きにつながることが期待される。建設業で女性が活躍する姿を実際に見て知る機会が、幅広い層に広がり、建設業に対する理解促進が期待される。

地域ネットワークの概要

静岡県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム

事業管理団体：静岡県交通基盤部建設支援局
建設業課

静岡県静岡市葵区追手町9-6

構成員名：静岡県

(一社)静岡県建設業協会

(一社)静岡県建設産業団体連合会

静岡県農業高等学校校長会

静岡県工業高等学校校長会

2 ずっと活躍できる建設業にしよう



雪のハンデを負う建設業の実態を把握し、効果的な女性支援策を計画

～女性が働きやすい職場を目指し、就労調査やフォーラムを開催～
北海道建設産業女性活躍推進協議会（北海道）

POINT

- ・北海道特有の雇用実態や建設業で働くための女性活躍推進策を検討するため、詳細な現場調査を実施し女性の就労実態等を把握した。
- ・建設企業で働く女性が意見交換できる場をつくり、ネットワーク化を図る。
- ・PR誌配布や出前講座、現場見学会など、若年層に向けた情報発信に注力する。



女性技術者、技能者、事務系職員など、約 330 名が参加した「建設業女性活躍推進フォーラム」

取組の背景と動機

北海道の雪による特殊な事情がイメージ低下をもたらす

半年近く雪に埋もれる北海道では、雪のない間に作業を集中的に行い工事を完了する必要があることから、季節雇用が定着し、現場の作業員に過重な負担がかかるなど長時間労働も生じている。こうした北海道の特殊事情は「きつい」、「不安定」といったマイナスイメージの増幅につながり、建設業への入職や定着が進まない大きな原因となっている。

こうした状況の中、建設業のイメージアップ、女性活躍推進に向けた取組を前進させるため、道内の建設業団体、職業訓練機関、行政機関など 10 団体が連携。平成 27 年 6 月に「北海道建設業の担い手確保・育成推進協議会」を組織し、8 月には女性の活躍促進を検討する部会をスタートさせた。

取組の概要

女性の就業実態を調査し、意見交換しやすい場を実現

「北海道建設産業女性活躍推進協議会」は、道内の女性技術者・技能者等の入職や定着促進へ効果的な対策を行うために、女性の就業実態の把握から開始。北海道建設業協会に加盟する約 680 社の会員企業について、女性就業者数や女性が働く現場、女性用トイレや更衣室の設置状況等を調査した。

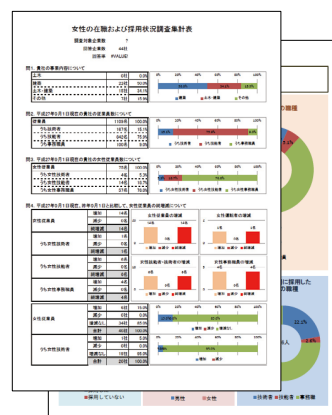
さらに、女性の技術者、技能者、ドライバー、事務系職員が参加する『建設業女性活躍推進フォーラム』を開催(平成 28 年 2 月 1 日)。業界のイメージアップや建設業に従事する女性が気軽に意見交換できる場を提供し、情報の共有や仲間とのネットワークづくりを促している。

取組の成果、今後の課題

企業への冊子配布や出前講座、現場見学会等で就業促進

今回の調査は、道内建設業の就労者全体での女性割合が 7.4%と、全国平均(約 12%)に比べて女性進出が遅れている現状を明らかにし、トイレや更衣室等の整備の遅れも浮き彫りにした。一方、約 330 名が参加して大盛況となったフォーラムは、北海道においても女性活躍推進に大きな関心があることを実感させた。

協議会は、実態調査とフォーラムの結果を道内の建設企業へ配信。さらに入職促進に向け、高校・大学での合同就職説明会の開催や先輩女性による出前講座、女性が活躍する現場の見学会等を実施する予定だ。女性活躍推進に向けて効果のある施策を実施するよう努力していく姿勢を維持する。



アンケート調査により、女性の在籍・入職状況、専用トイレや更衣室の設置状況等を把握

地域ネットワークの概要

北海道建設産業女性活躍推進協議会

事業管理団体：(一社)北海道建設業協会
北海道札幌市中央区
北 4 条西 3 丁目 1-21

構成員名：(一社)北海道建設業協会
建設産業専門団体北海道地区連合会
(一社)北海道商工会議所連合会
北海道
札幌市
国土交通省北海道開発局
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
北海道支部 北海道職業能力開発促進センター
北海道建設業信用保証(株)
厚生労働省北海道労働局
北海道教育庁



業界で働く女性の愛称「じゅうたく小町」を定め、女性活躍への提言を周知

～ハウスメーカーの女性技術者が結集、職場改善を具体的に提案～
低層住宅における女性技術者情報交換会からの環境改善(東京都)

POINT

- ・低層住宅の建設現場で働く女性技術者が抱える課題や悩みを解決するため、会社の垣根を越えて気軽に情報交換や相談ができる場を構築中。
- ・情報交換の場とともに、環境整備マニュアル改善や諸設備の改良等を推進。
- ・「じゅうたく小町」の愛称を活用して、活動の周知拡大を図る。



女性技術者・技能者が集まる「女性技術者情報交換会」が4回にわたって開催された。

取組の背景と動機

業界の女性技術者が抱える課題解決を目指す環境づくり

低層住宅建設業界では、技術者が複数の現場を管理し、顧客応対から苦情処理等まで1人で対処しなければならない。このため、長時間勤務や土日にも休みが取りにくいなどの問題が顕在化している。出産、育児の制約などの悩みを抱えながら仕事を続ける女性技術者はさらに深刻だが、自身の状況をすぐに上司に相談しにくい環境もあるという。

女性活躍の推進には、こうした業界特有の課題解決が必要との問題意識から、全国低層住宅労務安全協議会（以下「低住協」）は企業の垣根を越えて女性技術者が自由に発言できる場の形成に着手。女性の悩みや課題を共有するネットワークを構築し、女性が活躍できる環境整備のために「女性技術者情報交換会」を組織し、当事者による議論を重ねた。



メーカー立会いの下で行われたフルハーネスの装着体験。メーカーに要望等を伝え、改良を促す。

取組の概要

環境整備マニュアルや設備・装具の具体的改善策を提案

ネットワークを構築するため、低住協は、東京、千葉、埼玉、神奈川の各地区会議と4地区合同会議を随時開催。まず、女性技術者が働きやすい職場づくりの一環として、(一社)日本建設業連合会がまとめた環境整備マニュアルを住宅建設現場に適合させるための協議を重ねている。

設備面の整備では、女性の負担軽減につながる改善提案について、低住協ならではの仕組みを活用。会員の保護具メーカー立会いの下で女性の装着体験を行い、要望等をメーカーにフィードバックして、軽量化、装着時の利便性向上などを具体的に実現させた。仮設トイレについても、専門メーカーと設置基準や使い勝手等を検証しながら普及を進めている。また、業界で働く女性の愛称を「じゅうたく小町」と定め、ロゴを作成、商標登録を申請してアピールに努めている。

じゅうたく小町

じゅうたく小町のロゴマーク。住宅建設現場で働く女性技術者の愛称として、普及を目指している

取組の成果、今後の課題

現場で働く「じゅうたく小町」の育児や継続勤務も支援

女性が働きやすい環境と設備づくりに向けて行われた一連の協議は、育児との両立や継続勤務を支援する職場環境の改善等を核に提言としてまとめた。これを契機に、低住協では専用HPを活用して積極的に情報発信、住宅建設現場で働く女性技術者の愛称「じゅうたく小町」の普及などに努め、女性活躍を実現する提言の周知と女性技術者の活躍に向けた気運の醸成をさらに促していく予定だ。

首都圏から始まった活動は、既に大阪住宅工事安全協議会等の地域団体との連携に結び付くなど、全国的な広がりを見せている。

地域ネットワークの概要

低層住宅における女性技術者情報交換会からの環境改善

事業管理団体：全国低層住宅労務安全協議会

東京都墨田区江東橋 2-14-7

錦糸町サンライズビル 5F

構成員名：全国低層住宅労務安全協議会

ミサワホーム(株)

旭化成ホームズ(株)

大和ハウス工業(株)



先進事例を学ぶ交流会で、女性同士の横の繋がりを構築

～地域工務店で働く女性スタッフが気軽に情報交換できる場を提供～
北海道ブリリアント会（北海道）

POINT

- ・地域工務店の女性スタッフが集まる従来にはない機会を提供、親睦を深める交流から始め、悩みや問題点を本音で相談できる関係づくりを目指す。
- ・先進事例や他社の取組状況の把握が自社の取組の見直しに繋がり、戦力強化へ結実。
- ・上部組織が形成するネットワークを活用し、地域を超えて全国へ展開中。



北海道ブリリアント会の構成員、豊栄建設(株)モデルハウスの見学会

取組の背景と動機

地域工務店の女性スタッフに、まずは交流の機会を提供

地域の住宅建設を支えている工務店には、社員数名の家族経営の企業が多く、経営者夫人などの女性が経理や営業なども担うケースが珍しくない。しかし、「研修を受けたいが会社を空けられない」、「相談相手がいない」など、人手不足等を理由に、女性スタッフが能力向上をあきらめたり、悩みを抱えたまま孤立する状況にあった。

このように、工務店経営において女性スタッフが将来像を描けない状況を、望ましくないと感じたのが北海道ブリリアント会だった。同会は、建材・住宅設備機器を製造・販売する(株)LIXILの高気密・高断熱工法を取り扱う北海道地区事業者が組織した女性部会であり、まずは女性が気楽に集まれる場を設けて情報交換することが大切と考え、活動を開始した。



見学会に参加した北海道ブリリアント会の女性メンバー

取組の概要

交流会で先進事例や他社の取組状況を知り、自社を見直す

北海道ブリリアント会が優先して取り組んだのは、「女性が活躍する姿を学ぶ」こと。女性が集う機会がほとんどなかった状況を踏まえ、会社での女性の役割や悩み等について、グループ討議を繰り返し行い、女性が活躍する企業を招いた講演会も実施した。

この取組を通し先進事例や他社における女性の活躍状況を知る経験は互いに良い刺激となり、自らの会社や働き方を見直すきっかけになった。同会はさらに、会員企業への訪問や仕事に役立つ勉強会なども随時実施している。こうして女性が集まる機会が増えるにつれ、同じ境遇にある女性たちの間に仲間意識が芽生え、社内等では相談しにくい悩みや問題点を互いに相談・アドバイスできる関係が徐々に醸成されてきている。



インテリアコーディネーターの講師を招き行った研修会

取組の成果、今後の課題

ネットワーク拡大とともに、若年層、育児世代のサポートも

北海道から始まったこの活動は、地域ごとに女性のネットワークを構築する形に発展。平成27年11月には(株)LIXILの支援の下に全国組織が設立され、全国8ブロックに拡大したネットワークづくりが始められた。

現在、当初の目標であったネットワークの形成はほぼ達成したが、女性活躍のチャンスを広げるには、若年層や育児世代のサポートという新たな課題も見えてきた。今後は、こうした課題にも取り組み、幅広い女性支援と女性が活躍する工務店の実現を図る。

地域ネットワークの概要

北海道ブリリアント会

事業管理団体：(株)石山工務店

北海道旭川市東4条8丁目1-15

構成員名：(株)石山工務店

(株)竹中組

豊栄建設(株)

(株)アーバンガーバン

(株)萩工務店

(有)西岡建設



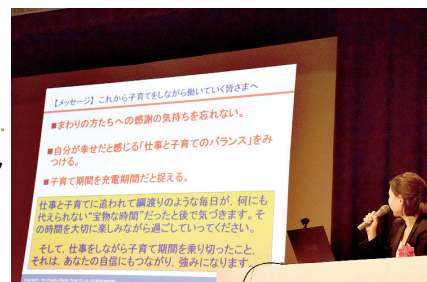
3 仲間と一緒に建設業を変えよう

建築設備業界で働く女性を中心とした女性交流ネットワークを設立

～建築設備六団体が協力、地域レベルのネットワークを順次立上げ～
建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワーク（東京都）

POINT

- ・女性交流ネットワークによるタテ・ヨコの連携を通じて、建築設備関連企業で孤立しがちな女性を支援する。
- ・建築設備六団体が連携・協力し、地域横断的に女性交流ネットワークを立ち上げる。
- ・設備女子会員を対象とした調査を実施し、会員企業等に女性技術者の声を発信した。



平成 27 年 12 月 4 日に「次世代技術者のための講演会～活躍されている女性・若手技術者たち～」(中国・四国エリア)を広島YMCAで開催。

取組の背景と動機

女性技術者同士で会話し、相談できる交流の場が必要

建設業で働く女性技術者たちは、仕事や家庭について相談できる同僚の仲間や先輩が少なく、孤立しがちである。また、キャリア形成についてもロールモデルがおらず、将来の姿を具体的にイメージしにくいという問題がある。本ネットワークでは、女性技術者同士でこれらの悩みや問題を話し合える身近な交流会のような場があれば不安も緩和され、活動内容を企業に発信すれば、環境整備と女性の入職促進への効果も期待できると考えた。

取組の概要

地域レベルで女性交流ネットワークを立ち上げ、交流を推進

本事業では、建築設備六団体協議会が協力し、業界で働く女性技術者たちのネットワーク(設備女子会)を支部や県の関係協会等の地域レベルで構築。この女性による交流ネットワークでは講演会や見学会等の交流イベントを開催し、情報交換の場を提供するとともに、働く女性たちの声を集め、関連企業等に周知、伝達している。

また、取組の一環として建築設備企業的女子会員を対象としたアンケート調査を実施。結果から導かれた女性たちの働き方についての意識や要望を、女性交流ネットワークを構成する 6 団体の会員企業等に周知するとともに、会員企業等への企業アンケートも実施している。

取組の成果、今後の課題

3 地域で地域交流ネットワークが立ち上がり、全国レベルでも活動開始

既に地域の設備女子会の交流が始まっている近畿エリア、中国・四国エリア、及び九州エリアでは本事業を通じて連絡体制が整備された。また、東北エリアと北信越エリア、中部エリアにおいても設備女子会立ち上げの準備が開始され、交流会を開催するとともに連絡体制を構築中である。将来的には、全国 8 ブロックの中心エリアにおいて設備女子会を発足させ、全国的な地域ネットワークの形成を目指す。

このような活動の活発化を受けて、設備女子会の会員は全国で既に 400 名を超え、年間で約 100 名ずつ増加している。

今後は、地域での交流活動にさらに多くの女性技術者の参加が望まれるが、企業内においても、このような女性活躍促進活動への理解を深めてもらうことが欠かせない。それを実現するために、今後は企業に対する活動趣旨の周知、PRを行っていく。



設備女子会員を対象にアンケート調査結果は、製本され、会員企業等に配布された。



Web サイトではイベント報告などを掲載。今後の予定や結果報告を知ることが出来る。

地域ネットワークの概要

建築設備六団体協議会 設備女子支援ネットワーク

事業管理団体：(一社)建築設備技術者協会
東京都港区新橋 6-9-6
12 東洋海事ビル 7 階
構成員名：(一社)建築設備技術者協会
(一社)日本空調衛生工事業協会
(一社)日本電設工業協会
(公社)空気調和・衛生工学会
(一社)電気設備学会
(一社)日本設備設計事務所協会



ロールモデルと女性活躍事例の紹介・PRにより、女性入職を促進

～行政、建設業団体、就業支援機関が連携して女性活躍を推進～
やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク（山口県）

POINT

- ・16 団体が加入する協議会をベースに「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク」を設置し、女性活躍を支援する。
- ・聞き取り調査を行い、ロールモデルの発掘と女性活躍優良事例を収集した。
- ・活動の成果を入職PR冊子にまとめ、県内の高校生や求職者に配布した。



意見交換会「もっと女性が活躍できる建設業を目指して」に集まった女性技術者・技能者

取組の背景と動機

「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク」を設置

山口県では、建設就業者がピーク時から約 3 割減少、とりわけ若年層では 6 割減少するなど、担い手不足と若者の業界離れが深刻化しつつある。県はこうした状況を踏まえ、人材確保・育成対策を効果的に行うための仕組みづくりに着手。県庁を中心に、業界団体、就業支援機関等 16 団体が一体となった取組を推進するため、2014 年 4 月に「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」を発足させた。

女性の活躍推進に向けた検討も 2015 年 3 月に開始し、「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク」を設置。建設企業で活躍する女性技術者・技能者についての情報発信や、女性活躍を支援する企業の優良事例等の収集と情報発信を目的に活動を進める旨を確認した。



入職PR冊子では、施工管理技術者、重機オペレーターなどの女性をロールモデルとして紹介

取組の概要

女性のロールモデルと活躍事例を収集、PR誌にまとめる

ネットワークは、まず県内建設企業に勤める女性の就業実態を明らかにする活動から開始。女性技術者・技能者や総務担当者への聞き取り調査を行い、ロールモデルの発掘と女性の活躍を促進する企業の優良事例を収集。さらに女性技術者等による意見交換会を開催し、働きやすい環境づくりや入職における課題、障害等を洗い出した。

これらの調査結果は、山口県土木建築部が配信するメールマガジン（200 社登録）や（一社）山口県建設業協会の WEB サイトで紹介するなど、地域全体で情報共有を図り、女性活躍の気運を醸成するために活用されている。

また、入職の PR 冊子として「女性もやっちょる 建設業！」を制作。建設業を身近に感じてもらえるように、様々な職種で働く女性の 1 日のスケジュール、やりがい等をわかりやすく紹介する構成でまとめ、県内の工業高校 1～2 年生や求職者に配布した。



第 2 回の意見交換会には、女性 6 名が参加。私服で参加してもらい、和やかな雰囲気の中、意見交換が行なわれた

取組の成果、今後の課題

女性技術者たちの「女性入職促進委員会」も発足・活動

2016 年 1 月、（一社）山口県建設業協会内に女性技術者、技能者を中心とする「女性入職促進委員会」が発足、会員による主体的な取組が開始した。これまでの取組が効果を発揮するためにも、活動を一時的に終わらせず継続させることが求められている。したがって、こうした気運をさらに高めるため、山口県では取組の定着に向けて地域ぐるみで後押しする意向を固めている。

地域ネットワークの概要

やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク

事業管理団体：山口県

山口県山口市滝町 1-1

構成員名：山口県土木建築部

（一社）山口県建設業協会

厚生労働省山口労働局職業安定部

山口県若者就職支援センター



原価管理から広報まで、実務講習を通し 女性事務職員のスキルアップを支援

～建設業の活性化へ、バックヤードから、さらに活躍の場を広げる～
建設業女性未来づくりの会(CHIC) (京都府・大分県)

POINT

- ・建設企業で働く女性事務職員のさらなる能力向上を支援し、活躍の場を広げることによって、現場業務の効率化はもちろん、建設業全体の活力向上を図る。
- ・現場支援ができる女性職員育成のため、独自開発の能力向上プログラムを活用。
- ・女性職員の業務の体系化とともに、新たな職務創出と認定制度の確立を目指す。



「建設業で働く女性活躍支援セミナー」のキックオフ会に大分県内から建設企業の女性職員が集まった(平成 28 年 1 月)

取組の背景と動機

女性事務職員の業務改善の必要性に着目

建設企業における IT の普及にとともに、女性事務職員が電子納品や積算等の業務を行う機会が増えている。しかし、こうしたバックヤード的な業務は、年々重要性が増すにも関わらず、業務として必要な標準化された規則が未整備で体系化されていない状況にある。

このような現状をふまえ、建設業の人手不足の解消や現場業務の効率化のためには、女性職員の活躍が不可欠と考える京都府と大分県の二人の女性経営者が、現場を支援できる女性職員の育成や処遇改善、入職等を支援するため、「建設業女性未来づくりの会(CHIC)」を設立した。

取組の概要

女性職員のための交流サイト開設と実務講習を実施

CHIC は、まず、建設業で働く女性職員の交流促進と情報共有を図るためにホームページを開設。女性職員向けセミナー等の活動状況を発信すると同時に、全国各地で活躍する女性や女性活躍を応援する企業、団体等の取組事例の収集・公開を通じて、連携強化を図る。

人材育成事業の一環として実施される実務講習では、積算・電子納品・コスト管理等の実務能力だけでなく、コミュニケーション能力や建設業の魅力を広報する際の知識を重視したプログラムも提供。女性職員がバックヤードだけでなく、建設業経営にも寄与できるスキルの習得を支援する。その他、女性が活躍できる職務領域を発掘するためのアンケート調査や女性就業に関わる課題を解決するメンター派遣なども試行的に実施した。

取組の成果、今後の課題

女性の新たな職務の創出を計画

平成 28 年 1 月には、大分市でコスト管理とコミュニケーション能力、建設業の広報業務に関わるスキルアップセミナーを開催。県内中堅・中小企業から女性職員約 40 名が参加する盛況を見せた。

予想を超える反響を追い風に、CHIC ではこれら 3 つのスキルを習得した女性を「建設ディレクター」として認定する資格制度の創設も計画 중이다。今後も、建設業で働く女性職員の新たな職務の創出と人材育成を推進することにより、職場での活躍の場を広げ、女性がよりいきいきと働ける職場環境の整備に向けた支援を継続。女性の入職と定着を促すことで、建設業の活性化を目指していく。



CHIC のロゴマークは、Construction (建設業)、Heroine (勇気や気高い特質で賞賛される女性)、Information (情報)、Community (コミュニティ) の頭文字



「建設業で働く女性活躍支援セミナー」のプログラム。積算・CAD、コミュニケーション等、全 6 回の講習でスキルアップを図る

地域ネットワークの概要

建設業女性未来づくりの会(CHIC)

事業管理団体：京都サンダー(株)
京都府京都市上京区
室町通下長者町下ル近衛町 33
構成員名：京都サンダー(株)
建設未来京都フォーラム
ミヤシステム(株)
(一社)コスト管理士協会
(有)アライ・アーキテクツ

4 もっと建設業を知ってもらおう



新聞特集や作業服の人気投票、見学会で女性や小中学生に建設業の魅力をPR

～一般紙の情報発信力を活用して建設業の魅力を効果的に発信～
建設業の女性活用に向けた新潟地域ネットワーク（新潟県）

POINT

- ・女性や子供たちに建設業の魅力を効果的に伝えるため、業界紙ではなく一般紙を活用。建設業で働く女性を紹介する記事を地域の幅広い層に発信した。
- ・女性部会のネットワークを生かし、紙面づくりやイベントを円滑に実施した。
- ・郷土史と関連させ建設業への興味を喚起する、小中学生向けの見学会も開催した。



地元新聞の朝刊に掲載された女性技術者等の特集する全面広告

取組の背景と動機

交流会「女性の集い」を立ち上げ、広報活動をさらに強化

これからの建設業は、女性にもっと目を向ける必要があると感じていた（一社）新潟県建設業協会は、平成11年に女性部会を立ち上げ、女性の活躍を支援する取組を進めてきた。中でも、女性の横のつながりを意識して始めた交流会「女性の集い」は、活動のサポートのみならず、自己啓発やリフレッシュの場としても活用されている。

早期の取組によって女性相互のつながりは拡大しているが、依然として女性技術者・技能者の数は少なく、業界に就職を希望する女子生徒も減少している。そこで同協会は、国の女性活躍の方針に合わせて建設業で働く女性を増やすための広報活動にこれまで以上の力を注ぐ必要があると考えた。

取組の概要

一般紙の特集記事や作業服デザインコンテストでPR

女性や子供たちに建設業の魅力を伝え関心を高めるため、協会は幅広い層に訴求する一般紙の活用に着目し、地元の有力紙「新潟日報」に協力を依頼。県内全域をカバーする朝刊に女性技術者の特集した全面広告や、現場で働く女性技術者を子供たちが取材した記事を掲載した。こうして将来の担い手である子供たちや女子学生、さらにその保護者に広く情報発信することで、建設業への興味や理解を深めてもらうとともに入職促進につなげる考えだ。

このほか、働く女性を応援するイベントに出展し、専門学校生がデザインした女性用建設作業服の人気投票を実施。さらに、女性技術者のやりがいや誇りをクローズアップした小・中学生向けの現場見学会用パンフレットの制作にも取り組んだ。

取組の成果、今後の課題

郷土史と建設業を学ぶ見学会で、小中学生の興味を喚起

一般紙やイベントを活用して女性が働く姿を広く周知することで、企業側に女性の活躍によるプラス効果が理解されるなど、変化が生じている。しかし、実際の受け手である女性や子供たちの反響の把握は難しく、どこまで入職に結びつくかという課題は残っている。

この課題を踏まえ、協会は、小中学生に直接、建設業への興味をもってもらうことが将来の進路選択に影響すると予想。地域の発展に大きく貢献した大河津分水路の見学など、郷土の歴史とそれを担った建設業の役割を同時に学ぶ機会を増やすことで、建設業への入職を促していく予定だ。



小・中学生の現場見学会用に制作されたパンフレット。土木・建築の仕事内容、女性技術者のやりがいなどを紹介



女性のための建設作業服デザイン・コンテストも実施した。上はその投票用紙

地域ネットワークの概要

建設業の女性活用に向けた新潟地域ネットワーク

事業管理団体：（一社）新潟県建設業協会

新潟県新潟市中央区新光町 7-5

構成員名：（一社）新潟県建設業協会

（株）新潟日報社



女性活躍支援に取り組む 地域ネットワーク事例集

平成 28 年 7 月

この事例集は、平成 26 年 8 月 22 日に国土交通省と業界団体が共同で策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を受けて作成したものです。